

令和6年（2024年）

第7回大阪狭山市教育委員会
定例会議議事録

令和6年（2024年）7月25日 開催

大阪狭山市教育委員会

第7回大阪狭山市教育委員会定例会議議事録

令和6年(2024年)7月25日(木)

午前10時00分 開議

市役所3階 委員会室

出席委員(5名)

竹谷 好弘	教育長
山田 順久	教育長職務代理者
田川 宜子	委員
河合 洋次	委員
井上 寿美	委員

出席事務局の職員

寺下 憲志	教育監
山田 裕洋	教育部長
浜口 亮	こども政策部長
山本 泰士	こども政策部こども家庭支援担当部長
鶴田 善道	教育部次長兼教育政策グループ課長
中本 真司	教育部副理事兼教育指導グループ課長
塚本 浩二	こども政策部次長兼こども育成グループ課長
神楽所保則	教育部教育政策グループ学校給食担当課長
森口 健次	生涯学習グループ課長
岩間かおり	こども家庭支援グループ課長

書記

荒川 郁代	教育政策グループ参事
安達奈津芽	教育政策グループ課長補佐

議事日程

開会

教育長活動報告

議事

- 日程第1 議案第14号 令和7年度使用中学校教科用図書採択について
- 日程第2 報告第20号 大阪狭山市狭山池総合学術調査委員会委員の委嘱について
- 日程第3 報告第21号 大阪狭山市立学校園の適正規模・適正配置に関する実施方針（素案）のパブリックコメント実施について

閉会

○各グループの報告事項

教育部長（山田裕洋）

それでは、定刻になりましたので、教育長、よろしく願いいたします。

教育長（竹谷好弘）

改めまして、おはようございます。

ただいまから令和6年第7回教育委員会定例会議を始めさせていただきます。

本日の出席委員数は定足数に達しておりますので、会議は成立しておりますことをご報告いたします。

議事録の署名委員は、会議規則によりまして、山田教育長職務代理人、井上委員を指名いたします。

また、本日は14名の傍聴の申込みがございましたので、承認いたします。

教育長活動報告でございますが、資料の1ページをお願いします。

主なものをご報告いたします。7月5日、大阪府都市教育長協議会7月定例会に出席し、情報交換を31市輪番で担当しておりまして、今回は大阪狭山市が担当ということで、本市の教育の取組みについて発表をさせていただきました。

それから、7月7日、11日、12日と3日間にわたり、公共施設再配置計画タウンミーティングを開催し、教育施設を含むこれからの公共施設の再配置の考え方について、市長、私、パネリストの先生を交えて市民の皆様とディスカッションさせていただきました。

7月19日、来客ということで、各学校の校長、教頭から無事1学期が終業したという報告を受けました。

その他、各種会議に参加、出席をいたしております。よろしいでしょうか。

それでは、早速ですけれども、議事に移りたいと思います。

本日の議案でございますが、日程第1、議案第14号、令和7年度使用中学校教科用図書の採

択についてを議題といたします。

教科用図書の採択に当たりましては、大阪狭山市立中学校教科用図書選定委員会に対し令和6年4月23日に諮問し、意見を求めたところでございます。

それでは、選定委員長からの説明を求めます。

選定委員長（酒谷由紀子）

それではまず、経過について報告いたします。

今回の教科用図書選定につきましては、16種目にそれぞれ調査員を任命し、各調査委員会において十分な研究協議の上、調査研究資料を作成し、選定委員会へ提出していただきました。

選定委員会では、中学校校長会代表、小学校校長会代表、小・中学校教頭会代表、保護者代表に教育委員会事務局を加えた7名によりまして、4月23日に採択の方針等を確認し、6月19日及び6月25日の2回にわたって各教科調査委員会より報告を受けた調査研究資料をもとに議論し、本市の子どもたちにとってより望ましい教科書を選んでいただくために、資料を作成いたしました。

また、事務局が大阪狭山市立図書館内・教科書センターに意見箱を設置し、13通のご意見をいただきました。主なものといたしまして、「中学生にとって使いやすいサイズ感を考慮してほしい。」や「過大な表現は避けてほしい。」「性の取扱いに気をつけて選定してほしい。」などの意見がありましたことを合わせてご報告いたします。

以上が、これまでの経過でございます。

答申させていただきます。

令和6年7月25日。

大阪狭山市教育委員会様。

大阪狭山市立中学校教科用図書選定委員会委員長、酒谷由紀子。

令和7年度使用中学校教科用図書の採択について（答申）。

令和7年度使用中学校教科用図書の採択に関し、国語、書写、社会（地理的分野）、社会（歴史的分野）、社会（公民的分野）、地図、数学、理科、音楽（一般）、音楽（器楽合奏）、美術、保健体育、技術・家庭（技術分野）、技術・家庭（家庭分野）、英語、道徳の16種目について、別紙資料のとおり答申いたします。

教育長（竹谷好弘）

お疲れさまでございました。ありがとうございました。

今、選定委員長より答申をいただきました。私も含めまして、委員の皆様にはあらかじめ教科書や答申資料など十分確認をしていただいております。

それでは、随時、選定委員長のほうからも教科ごとに説明をお願いしたいと思います。

初めに、国語の教科書採択に入ります。よろしく願います。

それでは、国語ですね。願います。

選定委員長（酒谷由紀子）

これより、調査委員会を経て選定委員会ですとめました各種目の教科用図書について、答申資料に沿って報告いたします。

まず、国語科について報告いたします。

学習指導要領では、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することをめざしています。このことを踏まえ、各社とも「話す・聞く」「書く」「読む」の言語活動において、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容となっております。また、生徒が言葉の持つ価値を意識し、言語感覚を豊かにし、言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図ることができるよう適切な内容が取り上げられています。

国語では、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の4社がありますが、例えば東京書籍で

は、「未来への扉」で、現代的課題について考えを深めることができるようになっていました。

三省堂では、どの学年も戦争教材が取り扱われていて、日常生活や社会生活の課題を取り入れ、実際の場で生かされるような工夫も見られました。

教育出版では、1年生から3年生へと段階的に重点を積み上げていくようにし、反復して習得できるように工夫がされていました。

光村図書では、生徒の発達の段階や習熟の課程を考慮して、段階的かつ系統的に構成されていました。

他の特徴につきましても資料にご覧いただけます。ご覧いただきたいと思います。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

それでは、頂いた資料等をご覧いただき、各委員からの意見を求めてまいりたいというふうに思います。よろしく願います。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

光村図書なんですけれども、光村図書、表紙の見開きがすごくほかにはないきれいさがあつたんです。あと、今、あまり使われなくなったいい言葉、日本語の美しさとか言葉を大切にしているなという印象を受けました。

教育出版のほうは、興味関心が持てる内容が多かったなと感じています。例えば沖縄の方言とか青森の方言とかを扱っていて、言語からも国語科への関心を持って学べる工夫がされているなと思いました。

全部見させていただいて中でもいいなと思ったのは東京書籍です。問題解決、言語活動が多く設定されているというのと、あと3年生のほうなんですけれども、3年生の102ページにあるみいたすきま教材というのですか、そういう教材が大変よくできているなと思って、子ど

もの書く力をつけるものもたくさん取り上げられているなど感じました。そういうのもすごく工夫されているなど思いました。

教育長（竹谷好弘）

分かりました。

ほかに。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私も東京書籍がよかったです。3年生のこの【未来への扉】のところで、宇宙からウクライナへというのがあったんですけども、そのウクライナの取上げ方も、単に今の戦争ということだけじゃなくて、やはりこれまでの日常がどうだったのかというふうなことも示されていて、とても子どもたちに広く社会を捉えるというふうな考える力みたいなものが培われると思いました。

そして、二次元コードなんですけど、古典のところなんかはBGMつきですごく学びへの工夫がされているなどということを感じております。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

山田委員。

教育長職務代理人（山田順久）

三省堂なんですけれども、読書本の案内のところでもいろんな種類が紹介されていました。それと、教科書を見ていると、文法とか色使いというんですか、それがとても見やすくてすっきりしています。

しかし、東京書籍もいいと思っています。デジタルコンテンツが非常に楽しくて、生徒が主体的に活用できるなどというふうに思いました。教材の中に「ごんきづね」を載せていますように、中一ギャップへの配慮というのもあります。あと、ほかに合計422冊の様々な種類、テーマの本が紹介されているのもいいなというふうに思いました。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

まず、三省堂ですけれども、巻末の用語辞典、これ、イラストつきで重要単語を分かりやすく解説しているところ、この点はよかったと思います。

ただ、先ほど話も出ていましたけれども、東京書籍のデジタルコンテンツ、教材に関連した資料を多く用意されていて、創意工夫がされていたと思います。この点から、私はやはり東京書籍がいいんじゃないかなと思います。

教育長（竹谷好弘）

意見が出そろったようでございます。ご意見を伺っておりますと、東京書籍を推す委員さんがほとんどだったなどというふうに認識をいたしましたけれども、そういうことで。

それでは、国語の教科書は東京書籍を採択することよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

そのように決定をいたします。

続いて、書写の教科書の採択に移ります。

お願いします。

選定委員長（酒谷由紀子）

書写について、報告いたします。

各社とも、文字を効果的に書くことや、日常生活の中で積極的に活用することについて、生徒が関心を高められるよう、写真やイラストを用いて視覚的に分かりやすく示しています。また、生徒が文字文化を継承・発展させる態度を身につけることができるよう、文字の成り立ちや歴史的背景、社会における文字の役割や意義について、コラムを設けて適切に取り扱っています。

書写は、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書が4社ありますが、例えば東京書籍では、

小学校でも採用されている「書写のかぎ」を柱とする学習過程により、小中9年間の系統性を立て、円滑な接続が図られていました。

三省堂では、発達段階に即して系統的に学習できるようになっています。単元を通して、学んだことを硬筆で書き残すような工夫も見られました。

教育出版では、それぞれの学年における生徒の発達段階や語彙、言語環境などを考慮して、言葉として適切で、書写の学習要素が理解しやすい文字や語句を選んで教材化されています。

光村図書では、学びのかぎで楷書と行書の使い分けのように、簡潔にポイントが表されており、分かりやすくなっていました。

他の特徴につきましても資料にございますので、ご覧いただきたいと思います。

教育長（竹谷好弘）

それでは、各委員からご意見をお聞きしたいと思います。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

すみません。以前、教科書を見せていただいたとき、以前って、これじゃなくてその前の教科書のとき、書写のお手本の字、かなり各社それぞれ特徴があったなと私は記憶しているんですけども、今回は、見せていただいた中、どこの出版社も大きなお手本の字に違いがなかったんじゃないかなと思います。

光村図書なんですけれども、光村は、楷書に右利き、左利きの描写が書かれていて、筆圧の説明なんかすごく上手だなと見ていました。QRコンテンツの動画で、教科書作成者の声というのが入っているんですね。それを聞いたら、QRコンテンツを読み取ると見られるんですけども、どんな人が書写の教科書づくりに携わったのかなと分かって、また教科書にちょっと興味が私は湧きました。

東京書籍のほうは、見開きに文字を書くってなんだろうと問いかけている場面があるんですね。そこが書くことの意味から深く考えさせられていいかなと思いました。生徒にとって、やっぱり意味を考えて字を書いて意識をして学びに向かうというのは大事だなというふうに感じました。

教育長（竹谷好弘）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

三省堂なんですけれども、最初の見開きが谷川俊太郎で、この世界観もすてきだなと思うんですが、後ろのほうのページを開けると、Y O A S O B I が取り上げられていて、その歌詞が書道で書かれていくのを見たときに、すごく子どもたちが身近に書写のことを感じるのではないかなというふうにも思いました。

動画のほうなんですけれども、スロー再生があって、とても丁寧に作られているかなというふうにも思いました。

動画ということであると、東京書籍の動画の字幕では、ありとなしを選ぶことができる、そんな配慮がされていて、とん、すう、ぴたっという、これが小学校からの書き方がずっと続いているので、子どもたちの学びが継続できるのかなというふうにも感じました。「自分のノートを見直す」という項目もあるんですけども、自分自身を振り返る機会もありますので、結果としては東京書籍がよかったかなというふうに思っております。

教育長職務代理人（山田順久）

私も東京書籍は、小学校の教科書と同じ図番を使って、今まで学んだ既習事項を反復しながら新しい学習を積み重ねることができるというのでいいかなというふうに思いました。

それと、先ほどもありましたけれども、教科書の題材と連動したデジタルコンテンツを見て

みますと、毛筆の運筆動画というのを見ることができまして、そこもとてもいいかなというふうに思います。

教育長（竹谷好弘）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

教育出版は、目標と振り返りという簡潔な構成が1ページでまとまっていて、流れがすごい分かりやすいと思います。

ただ、やっぱり東京書籍は見やすいというのはありまして、あとは、小学校から同じキャラクターを使用しているというのと、それと、小学校から9年間見通したつながりを持った内容になっているように感じました。学習指導要領にのっとった各学年の目標が考えられてとてもよいと思います。私も東京書籍かなと思います。

教育長（竹谷好弘）

それぞれの委員からご意見が出たように思います。東京書籍を推す委員の方が多くのございますので、書写につきましては東京書籍としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、書写の教科書は東京書籍を採択することに決定いたします。

続いて、社会（地理的分野）の教科書の採択に移ります。

ちょっと準備ですね。

よろしくをお願いします。

選定委員長（酒谷由紀子）

社会について報告いたします。

社会につきましては、地理的分野、歴史的分野、公民的分野及び地図の分野ごとに報告をさせていただきます。

まずは地理的分野です。

学習指導要領では、社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グロ

ーバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することが求められています。このことを踏まえ、各社とも、「目標」及び「内容等の取り扱い」に示された事項は、過不足なく取り上げられています。また、「課題を追究したり解決したりする活動」につきましても、単元の初めに学習の流れを意識する工夫や対話的、協働的に学ぶことができる工夫があり、生徒が学習しやすいよう考えられております。

選定項目に沿った各社の特徴は、資料にもありますが、例えば東京書籍では、「みんなでチャレンジ」のコーナーでは、個人活動からグループ活動へと展開するなど、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に行うための工夫がなされております。

教育出版では、巻頭でSDGsについて取り上げ、主体的に現代の世界や日本の課題を読み解いたり追究したりする学習展開になるような工夫があります。

帝国書院では、世界の諸地域ごとに「未来に向けて」や「地理プラス」が設置され、諸地域の多様な価値観や文化の共生を図る人々の姿が紹介されております。

日本文教出版では、「議論してみよう」などのコーナーに「学び合い」マークが付され、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に行うための工夫がなされておりました。

他の特徴につきましても資料にございます。ご覧いただきたいと思います。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

地理的分野につきましては4社でございます。意見をお願いしたいと思います。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

日本文教出版と帝国書院ですけれども、小学校との関連とか公民の関連が示されているというように感じました。これで体系的に学ぶ工夫ということで、大変よかったんじゃないかなと思います。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

山田委員。

教育長職務代理者（山田順久）

日本文教出版の教科書を見ていますと、宮崎市を例に、地域の在り方として構想した内容を最後に発信するような学習になっています。各社ともに地域の在り方の取扱いというのがあるんですけども、この日本文教出版の学習の進め方というのが本市の地域学習をより充実させていくという方向性に適しているように思いますので、私は日文がいいかなというふうに思いました。

教育長（竹谷好弘）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

日本文教出版、やっぱり写真やグラフがとても多くて、視覚的に学習内容を捉えやすいかなというふうに感じております。多いんですけどもすっきりと構成されているので、全体的に学びやすい教科書だというふうに思いました。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ほか。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

各社とも、4社ともに1単位時間を3観点で評価できるように工夫されているんですけども、特に何か日本文教出版、見開き1ページでの取扱いになっていることとか、あと、先ほど井上委員おっしゃったように、デザイン面でも見やすさ、使いやすさというのがいいなと思

ました。

教育長（竹谷好弘）

意見が出たようでございます。皆さん、日本文教出版を推されていたようですけども、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

では、社会（地理的分野）は、日本文教出版を採択することに決定いたします。

続きまして、社会（歴史的分野）の採択に移ります。

お願いいたします。

選定委員長（酒谷由紀子）

では、社会（歴史的分野）について報告いたします。

歴史的分野につきましては、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することが求められております。

各社とも学習指導要領の趣旨が十分に反映されているとともに、自ら進んで学習に取り組めるよう創意工夫があり、豊富な資料が掲載されています。また、主体的・対話的で深い学びにつながるように配慮した内容となっております。

選定項目に沿った各社の特徴は資料にもございますが、例えば東京書籍では、「震災の記憶を語り継ぐ」記述が見開き2ページで特集されており、防災に関連した学習をすることができます。

教育出版では、災害や感染症についての記述があり、過去のパンデミックの経験を現在にどう生かせるか話し合う学習をすることができます。

帝国書院では、「地域史」についての記述があり、日本の社会や文化への理解が深められる

ようになっております。

山川出版社では、「歴史へのアプローチ」があり、発展的学習に活用することが考えられます。

日本文教出版では、巻頭は「受けつがれていく人々のおもい」として、歴史を学ぶ意義についての記述がされております。

自由社では、「外の目から見た日本」のページがあり、多面的な見方で歴史を学べる記述内容となっております。

育鵬社では、「感染症の歴史」についての記述があり、新型コロナウイルス感染症と過去の天然痘などを比べて学習することができます。

令和書籍では、巻頭は歴代天皇の皇位継承図を紹介しており、巻末は「歴史時代ごとの地図」と「日本美術図鑑」となっております。

他の特徴につきましても資料にございます。ご覧いただきたいと思っております。

教育長（竹谷好弘）

社会（歴史的分野）は8社でございます。ご意見をよろしくお願いいたします。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

各社時代の前後関係を把握しやすい工夫がされていると思ったんですけども、特に東京書籍と教育出版とあと帝国書院が採用している横に掲載するインデックスがどの時代を学んでいるかというのは、これは一目瞭然でいいと思います。あと、その中でも帝国書院のタイムトラベルの学習というのがあるんですけども、その時代のイメージができてすごくいいなと思いました。私はトータルでは帝国書院でいいと思いました。

教育長（竹谷好弘）

田川委員。

教育委員（田川宜子）

先ほど言った時代のイメージでいくと、帝国

書院と日本文教出版が採用されている巻末の歴史年表というのがいいなと思いました。日本と世界という大きい捉え方だけでなく、中国、あと朝鮮というのも記載されていて、文化的にどんなつながりがあったかとか、流れをよく見て取れるように感じました。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

東京書籍なんですけれども、解放令から水平社へというコラムがあるんですね。大阪人権博物館所蔵の道具も写真つきで掲載されておりまして、子どもたちが部落差別の問題に興味を持つきっかけになればいいかなというふうに思いました。山川出版のほうも、琉球やアイヌのことがそれぞれ記載、丁寧に取り上げられているのかなというので、その点がいいなというふうに思っております。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

山田委員。

教育長職務代理者（山田順久）

私は、帝国書院がいいと思います。挿絵とか年表が非常に充実しているということと、二次元コードが系統的で、授業でも使いやすいなと思いました。また、歴史の調べ方・まとめ方・発表の仕方という工程が非常に分かりやすく、これは子どもたちの探求的な学習にもつながるんじゃないかなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

そしたら、田川委員は。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

いいですか。私、先ほどちょっと年表のほうを言わせてもらったんですけども、全体的な構成のことでいうと、私も帝国書院が見やすい

のかなと思いました。大阪狭山市のことを調べると、地域学習につなげることができるんじゃないかなと思って、教科書を見ながらちょっと想像しました。あと、章の振り返りというのがすごく充実していましたので、子どもたちが学んだことを整理するのも役立つんじゃないかと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

皆さん、ご意見が出たようでございます。ご意見を伺っておりますと、帝国書院を推される方が多かったようでございますが、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、社会（歴史的分野）の教科書は帝国書院を採択することに決定いたします。

続いて、社会（公民的分野）の教科書の採択に移ります。

しばらくお待ちください。

お願いいたします。

選定委員長（酒谷由紀子）

社会（公民的分野）について報告いたします。

学習指導要領では、現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することが求められています。

各社とも学習指導要領の趣旨が十分に反映されているとともに、社会事象に関する取扱いや多面的・多角的な考察、現代社会の課題の解決など、生徒が主体的に学ぶ教材が適切に取り扱われています。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元の資料にあります。例えば東京書籍では、章ごとに「みんなでチャレンジ」が設けられ、グループ

で協力しながら対話的な活動ができるよう工夫されております。

教育出版では、SDGsとの関わりのある分野について欄外にマークを掲示し、生徒が気づきやすくなっております。

帝国書院では、「アクティブ公民」という特設ページやコラムが設けられ、見方・考え方を働かせながら話し合い活動を進めるための問題提起がされております。

日本文教出版では、「明日へ向かって」というコラムにおいて、防災学習・裁判員制度・年金制度などが取り上げられ、将来、社会参画する見通しが持てる工夫がされております。

自由社では、1年間のまとめとして「課題の探求」ページがあり、「レポート」「卒業論文」「ディベートの方法」などが紹介されております。

育鵬社では、章のまとめにテーマごとに「〇〇のこれから」というような生徒が主体的な話し合い活動が進めやすい構成がありました。

他の特徴におきましても資料にございます。ご覧いただきたいと思っております。

教育長（竹谷好弘）

ただいま報告がございました。社会（公民的分野）については6社ということでございます。ご意見をお願いいたします。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私は子どもの権利に注目して拝見させていただいたんですが、子どもの権利条約について、各社とも抜粋を掲載しておられるんですが、今、4つの原則と言われている第2条、第3条、第6条、第12条全て掲載されているところの教科書会社は残念ながらなかったんです。ただ、その中ではやっぱり日本文教出版が比較的よかったかなというふうに思います。第2条の差別の禁止、第3条の最善の利益、そして第12条の

子どもの意見の尊重、意見表明権をしっかりと記載されておりますので、やはり子どもの権利に対してしっかりとした考えで編集されているように感じました。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

東京書籍の「18歳からできること、20歳でできること」のコラムが面白いと思いました。18歳成人という法改正に沿った内容ですし、公民の学習に興味を持つ内容となっていると思います。あと、子どもたちにとって身近なことをクイズ形式にしているところがいいと思いました。

あとは日本文教出版ですね。章の初めにイラストや漫画を多く用いているところがすごいいいなと思いました。これですけれども、公民、なかなか子どもの興味関心を引くのは難しい分野かなと思いますので、こういったイラスト、漫画で子どもたちの興味を引く工夫がされている点がすごくいいなと思って、私は日本文教出版がいいと思います。

教育長（竹谷好弘）

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私も日本文教出版がいいなと思いました。中身にあるチャレンジ公民とかと各章アクティビティ、子どもたちの興味を引く内容が多かったかなと思います。あと、子どもたちに身近なものが題材になっているという教科書の中で取り上げていることが多くて、主体的な学びにつながるんじゃないかなとも思いました。

また、近隣の市の堺市の施設というのも掲載されていて、そういうのも子どもたちが興味を引いて身近な教材になるのかなとも思いました。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

山田委員。

教育長職務代理者（山田順久）

私も日本文教出版がいいと思いました。章の初めの導入というのが工夫されていて、子どもたちが意欲的に取り組める内容になっています。また、各章のまとめと振り返りというところでは、見開き1ページで、子どもたちが整理しやすい内容になっていました。

教育長（竹谷好弘）

ご意見が出たように思います。ご意見を伺っておりますと、皆さん、日本文教出版を推されるということによろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、社会（公民的分野）の教科書は日本文教出版を採択することに決定いたします。

続いて、地図の教科書の採択に移ります。

それでは、地図、よろしく願いいたします。

選定委員長（酒谷由紀子）

地図について報告いたします。

地図の場合も各社学習指導要領の趣旨が十分に反映されており、自ら進んで学習に取り組めるよう創意工夫を凝らし、見やすく、分かりやすく、活用しやすい地図帳となっています。

選定項目に沿った特徴は資料にあります。

例えば東京書籍では、多文化共生に関して、世界各地と日本の文化との違いを対象比較しやすいような構成になっております。

帝国書院では、インクルーシブ教育の観点から、地名を手話で表すコーナーがあるなどの特徴が見られました。

他の特徴につきましても資料がございます。ご覧いただきたいと思います。

教育長（竹谷好弘）

ただいまご報告がございました。地図については2社でございます。ご意見を願います。

山田委員。

教育長職務代理人（山田順久）

私は帝国書院がいいと思いました。地図で考える持続可能な社会として、環境問題、それと脱炭素、食料問題などを取り扱っていきまして、子どもたちがそういったことを意識した上で学習を進められている工夫がされています。

それと、近畿地方から京阪神、そして大阪というような流れで、地形や歴史、そして文化、観光というのを見ることがができますので、地域学習を進める上で非常にいいかなというふうに思いました。

教育長（竹谷好弘）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

東京書籍ですけれども、サイズが大きくなって、見やすくなっていると思います。あと、以前はなかった狭山池の記載も採用されたということですので、地域調べ学習が進めやすくなると思います。

ただ、全体的な見やすさという点ですと、やっぱり私も帝国書院が見やすいと感じました。地図の見やすさは大きなポイントになると思いますので、やっぱり帝国書院がいいんじゃないかと思います。

教育長（竹谷好弘）

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私も地図そのものを比べると、帝国書院のほうが見やすいと感じました。コントラストが、どちらかというと、帝国書院のほうが鮮やかなので、土地の高低がよく分かっていいかなと思います。また、国名や県名とか見やすくて、子どもたちが学びやすいと感じました。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私も帝国書院がいいなというふうに思いました。巻末の索引のところ、帝国書院は記号を用いたり、ページ数のフォントもすごく変えていて見やすくなって工夫されています。統計表とかグラフのところも、色使いも含めてとても見やすいというふうに感じました。工夫されていると思います。

教育長（竹谷好弘）

よろしいでしょうか。

ご意見が出たようでございます。皆さん、帝国書院を推されていたと思いますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、地図は帝国書院を採択することに決定いたします。

続いて、数学の採択に移ります。

よろしくをお願いします。

選定委員長（酒谷由紀子）

数学について報告いたします。

学習指導要領では、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の基礎を育成することが示されています。このことを踏まえ、各社とも主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容になっております。また、1人1台端末を有効に活用する工夫がなされています。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元の資料にあります。例えば東京書籍では、デジタルコンテンツについて、アニメーションを用いたり、ヒントや類題を表示したりすることで、粘り強く取り組むことができるようになっております。

大日本図書では、例題の動画解説を学習に活用し、操作を通して特徴や変化を調べることができるようになっております。

学校図書では、生徒の学習状況に応じて制限

時間などの条件が変えられるので、個別最適な学びに対応できるようになっております。

教育出版では、関数の式などを自由に変えることができたり、グラフの表示の有無を選択できたりするなど、アニメーションを用いながら生徒が主体的に学習に取り組むことができるようになっております。

啓林館では、動画による解説に加え、補充問題も充実しているので、多くの問題に触れられるようになっております。

数研出版では、全国学力・学習状況調査の調査問題に取り組むことができるなど、多様な問題が取り扱われています。

日本文教出版では、作図などにおいて、デジタルコンテンツであるシミュレーション教材が充実しており、紙とデジタルを併用するなど個別最適な学びに対応できるようになっております。

他の特徴につきましても資料がございます。ご覧いただきたいと思っております。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。数学科については7社でございます。ご意見をお願いいたします。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

まず、啓林館なんですけれども、問題数が多いと感じました。これ、問題数が多いほうが自分で練習がたかさんできるのがいいかなと思いました。

いいと思ったのは学校図書です。基礎が身につく問題というのが多い印象です。あとは、生徒との会話形式も理解しやすいようです。様々な対話の場면을提示して、他者の考えに触れる機会を設けて、他者のつながりというのを意識している感じがして、これもまた協働的に学習を進めることができるというところがいいかなと思いました。その点で学校図書館が私はいいい

と思います。

教育長（竹谷好弘）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私も学校図書がいいなというふうに思っております。数学の苦手な子どもたちにとって、基礎が身につく問題が多いように感じました。節の終わりには「確かめよう」、章の終わりには「章のまとめの問題」の（基本）と（活用）というのがあります。巻末には「学年の復習」というのがあって、主体的に学習に取り組めるようになっていいると感じました。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

山田委員。

教育長職務代理者（山田順久）

私も学校図書がよいと思いました。巻末に「見方・考え方をまとめよう」というのを設定して、数学的な見方・考え方をどのような場面で働かせているのかをまとめて、そして様々な場面で活用できる内容というのを取り扱っています。生徒自らが問題を見いだして、問題解決への見通しを立てて解決していく。そして、さらに新たな問題を見いだすという学習過程を設定して、主体的な学びが実現できるようになっていますので、学校図書がいいかなというふうに思いました。

教育長（竹谷好弘）

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私も各社ともに練習問題には巻末やデジタルコンテンツで解答がついているので、自分で問題を解いていけるようになっていいかなと思うんですけれども、学校図書がいいかなと思いました。学校図書はチャットボットで質問ができるというふうになっていて、それが特徴的

だなど思いました。

教育長（竹谷好弘）

皆さん、ご意見が出たように思います。皆さん、学校図書を推されていたと認識しましたが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、数学は学校図書を採択することに決定したいと思います。

続きまして、理科の教科書の採択に移ります。

お願いいたします。

選定委員長（酒谷由紀子）

では、理科について報告いたします。

理科では、学習指導要領に示された自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することをめざすと示されています。このことを踏まえ、各社ともに主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容になっております。

また、探究する力を養うことを意識して学習が進められるよう構成されており、単元の学習後に基本問題や活用問題を掲載し、学力の定着と向上を意識した構成になっています。

さらにSDGsや防災・減災などの今日的な教育課題についても掲載されており、各社とも1人1台端末の有効な活用についての工夫も見られます。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元の資料にあります。例えば東京書籍では、写真やイラストが豊富で大きいものが多く、身近な現象との結びつきをイメージしながらの学習が進めやすくできております。

大日本図書は、サイズが最も小さく作られています。実験など、資料が豊富に掲載されています。

学校図書は、実験の手順や図、写真が丁寧に

掲載されております。

教育出版では、新しい器具を用いた実験が掲載されており、取り組みやすいような工夫がされています。

啓林館では、実験と、自分で仮説や計画を立てる探「Q」実験が区別して取り上げられており、生徒の思考力・判断力を育成する視点が明確に示されています。

他の特徴におきましても資料がございます。ご覧いただきたいと思います。

教育長（竹谷好弘）

理科は5社でございます。ご意見をお願いいたします。

山田委員。

教育長職務代理者（山田順久）

硫黄と鉄の実験で、硫化水素を吸ってしまうということは毎年報道されています。啓林館では硫化水素が発生する工程を省いていますので、硫化水素が発生しないので、より安全に実験ができていいかなというふうに思いました。

教育長（竹谷好弘）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

唾液の働きを調べる実験の唾液を採取する方法なんですが、やっぱり思春期の生徒たちにいるんな配慮が要るかなと思うんですが、啓林館はとても配慮のある方法が掲載されていました。その意味でも私も啓林館がいいなというふうに思っています。

教育長（竹谷好弘）

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私も啓林館がいいなと思うんですが、植物の断面図の写真などを比べてみますとはっきりと写っていてとても見やすいですし、巻末にある「探Qシート」というのがありますが、これも仮説から実験の計画、結果、考察の流れにつ

いて、子どもたちがまとめやすいように作られているので、活用しやすいんじゃないかなと思います。

教育長（竹谷好弘）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

私は、東京書籍も学校図書もよくまとまっていて分かりやすいと思ったんですけども、やっぱり啓林館は探究的な視点って多いところがすごい魅力的やと思いますので、トータルで私も啓林館がいいと思います。

教育長（竹谷好弘）

それでは、皆さん、啓林館を推されていたと思います。よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、理科は啓林館を採択することに決定いたします。

続いて、音楽（一般）の教科書の採択に移ります。

お願いいたします。

選定委員長（酒谷由紀子）

音楽（一般）について報告いたします。

学習指導要領では、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することをめざしています。このことを踏まえ、各社とも学習のねらい、学習する教材や曲を通して、身につける音楽の力や多様性について理解を図ることができる内容が取り上げられております。また、創意工夫をしながら見通しをもって音楽表現に必要な技能を習得できるよう配慮されています。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元の資料にあります。例えば教育出版では、各学年の系統性に基づき、素材性を活かして比べる曲が用意され、学習が深められるように設定されています。また、写真やイラストが大きいものが

多く、イメージしながら学習が進めやすくなっています。

教育芸術社では、関連する表現教材と鑑賞教材が効果的に学習できるよう工夫されて配列されており、扱う楽曲が各学年の発達段階に合わせて指導がしやすくなっています。

他の特徴につきましても資料にございます。ご覧いただきたいと思います。

教育長（竹谷好弘）

音楽（一般）については2社でございます。ご意見をお願いいたします。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私は、2社を見て、教育芸術がいいと思いました。目の行きどころという、見やすさもそうなんですけれども、特に二次元コードのところにカラピアノというのがついていて、これはとてもいいなと思いました。今、タブレットを皆さん学校で持っていて、自身のタブレットを活用して、自宅でもこのカラピアノというのを使って練習ができるので、すごくいいなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

今、田川委員もおっしゃっていましたが、カラピアノですね。私も教育芸術のカラピアノはすごくいいなと思います。子ども一人一人に対応した教材の工夫で、すごい工夫されているなと思います。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

教育出版の教科書では、YouTubeに出演している人を掲載して子どもの興味を引くとか、いろいろ工夫はありますが、教育芸術の教

科書のほうはミュージカル俳優とか宇宙飛行士を掲載しているんで、やはり身近にまたそれも感じていただけるかなと思いました。

今回なんですけど、教育芸術、とても見やすく変わったなというふうに思います。写真とかイラストの見やすさを前回のものと比べると、とても大きく変えてこられたなというイメージがありまして、詳しい説明もしっかりと載せられていて、中学生にとっては見やすい、説明が詳しい、使いやすさという点で教育芸術社がよいのではないかなというふうに思います。

教育長（竹谷好弘）

山田委員。

教育長職務代理者（山田順久）

私も同じでして、教育芸術の変化というのは大きく感じました。イラストとか写真の工夫だけでなく、先ほどから出ています二次元コードを活用したカラピアノなど、子ども一人一人をしっかり伸ばそうとするための仕掛けがたくさんあるかなというふうに感じました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。ご意見が出ました。皆さん、教育芸術社を推されていたように思います。よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、音楽（一般）は教育芸術社を採択することに決定したいと思います。

続きまして、音楽（器楽）の教科書に移ります。

お願いします。

選定委員長（酒谷由紀子）

音楽（器楽合奏）について報告いたします。

学習指導要領では、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することをめざしています。このことを踏まえ、学習する教材や楽器

についての基礎的な知識や奏法を身につけ、創意工夫を生かした音楽表現ができるよう内容が取り上げられております。また、生活や社会の中の音や音楽について考える教材を幅広く取り入れ、音楽を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う内容となっております。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元の資料にあります。例えば教育出版では、デジタルコンテンツ「まなびリンク」の二次元コードが各所に用意され、楽器の奏法や演奏などを聞くことができます。

教育芸術社では、様々なデジタルコンテンツを用意し、演奏家の紹介や演奏の動画、ワークシートなどが用意されております。

他の特徴につきましても資料にご覧いただけます。ご覧いただきたいと思います。

教育長（竹谷好弘）

音楽（器楽）については2社でございます。ご意見をお願いいたします。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

リコーダーの運指って、結構子どもたちはよく使うと思うんですけども、どちらも掲載はされているんですが、見開きで見られるのと、それから、こういうふうには開かなければいけないものがありまして、教育芸術のほうはすごく使いやすく見開きで大きく見えるかなというふうに思いました。替え指も掲載されていますので、替え指が掲載されているのは教育芸術社だけだったのかなというふうに思います。

教育長（竹谷好弘）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

私も教育芸術はいいなと思います。写真とか多面的に掲載されています。非常に見やすい印象でした。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

教育芸術なんですけれども、三味線のばちの説明とか、お琴の運指の説明はとても分かりやすいなど見させていただきました。あと、大阪狭山市の中学校3校ともお琴の授業、学習であると思うんです。お琴の運指がすごく分かりやすいと思うのは教育芸術のほう、とてもいいなと思いました。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

山田委員。

教育長職務代理者（山田順久）

2社とも様々なデジタルコンテンツがありますが、教育芸術のほうが伴奏音源がとても豊富というふうに感じました。伴奏音源が充実していますと、個別練習にも取り組みやすいということで、私も教育芸術がいいかなというふうに思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。ご意見が出されました。ご意見では、皆さん、教育芸術社を推されていたように思います。よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

音楽（器楽合奏）については教育芸術社を採択することに決定いたします。

続いて、美術の教科書に移ります。

お願いいたします。

選定委員長（酒谷由紀子）

美術科について報告いたします。

学習指導要領では、小学校図画工作科における学習経験と、そこで培われた豊かな感性や表現及び鑑賞に関する資質・能力などを基に、中学校美術科に関する資質・能力の向上と、それらを通じた人間形成の一層の深化を図ることを

ねらいとし、高等学校芸術科美術、工芸への発展を視野に入れつつ、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することをめざしております。

以上の点を踏まえ、各社共通の特徴といたしまして、中学校3年間の発達段階に応じた造形的な見方・感じ方を示し、豊かな感性を育むことで、美術科の資質・能力を養うことができるよう配慮されております。また、各社とも、美術や美術文化に関する知識や教養を幅広く学ぶことができるよう各題材が適切に取り扱われております。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元の資料にございますが、例えば開隆堂出版では、スケッチから人物画、それから抽象画というふうに、基礎的な見方や考え方を段階的に育成できるよう配慮されております。また、表紙に特殊加工を施し、タイルの質感や絵の具を塗り重ねた筆跡を表現することで、生徒の興味・関心を高めています。

光村図書では、日本絵画を取り扱う際、紙質を変え、原寸大の写真を掲載するなど、生徒の興味を高める配慮がされています。また、個別最適な学びを支援するため、教科書と並べて活用できる別冊資料が用意されております。また、高精細画像は拡大・縮小が可能となっており、作品の細かな表現技法を観察することができたり、書き込みツールで作品に書き込んだりすることができ、生徒の主体的な学びや協働的な学びに配慮されております。

日本文教出版では、「作者の言葉」というところで、生徒が作品について発想したり、構想したりしやすいように、作品の主題や表現の工夫がされており、各題材で「鑑賞の入り口」と「学びの目標」「造形的な視点」がすっきりと

分かりやすくレイアウトされております。

他の特徴につきましても資料がございますので、ご覧いただきたいと思います。

教育長（竹谷好弘）

美術については3社でございます。ご意見を願いたいします。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

まず、開隆堂の表紙のタイルが特殊加工で質感が出ていたりとかは、とても興味を引くつくりだなというふうに思いました。

ただ、一番私自身が興味を引かれた中で、光村の二次元コードそのものがデザイン性が工夫されていたりとか、それから、その二次元コードで全国の生徒の作品が見られるようになっていて、美術の苦手な生徒にとっては、全国の生徒の作品を見るのがまたヒントになって想像力がかき立てられるかなというふうにも思いました。アニメづくりも楽しそうなので、私は光村図書がいいなというふうに感じております。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私も光村が鑑賞に力を入れているのもすごく好印象でした。本当に今の時代ですから、「ゲルニカ」なんかにも力を入れて鑑賞してもらいたいなというときとか、2・3年生の96ページの仏像の手の解説があるんですけども、これなんか鑑賞の興味関心を高める工夫がしてあったので、それもすごくよかったです。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ほかは。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

開隆堂の表紙、すごい特徴的で、教科書を開

きたくなるような工夫というのがしてあると思います。

ただ中身としては、やっぱり光村のデジタルコンテンツの充実ですね。特に高精細画像はすごいいいと思いました。あとは、同じテーマでも違う作品を掲載しているなど、鑑賞が充実する工夫が多いと思います。私も光村がいいかなと思います。

教育長（竹谷好弘）

山田委員。

教育長職務代理者（山田順久）

現在、副教材として資料集を購入しているというふうに聞いていますけれども、光村はそういう点において、別冊が付属する点というのはいいと思います。資料集としてそのまま使えると思いますので、私も光村がいいと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ご意見が出ました。皆さん、光村を推されていたように思いますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、美術は光村図書は採択いたします。続いて、保健体育の教科書に移ります。

願いたいします。

選定委員長（酒谷由紀子）

保健体育について報告いたします。

学習指導要領では、体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することをめざしております。このことを踏まえ、学習課題を整理し、課題解決に取り組むことで、運動の特性に応じた技能や個人生活における健康・安全の知識・技能を身につけられる内容が取り上げられております。また、習得した知識・技能を活用し、生活の振り

返りを行うことを通して、運動や健康についての自他の課題を見つけ、その解決に向けて思考・判断し、他者に伝える力を養うための適切な内容が取り上げられております。

保健体育は4社ありますが、例えば東京書籍では、危険予測の単元で二次元コードを読み取ると、タブレット端末で臨場感のある映像が見られるので、自分事として捉えやすいような工夫がありました。

大日本図書では、特に救命救急のページでは、折り込み見開きで掲載されており、生徒が実習をしていく上で、手順や一連の動作など、見やすく確認しながらできるようになっていました。

大修館書店では、生徒が1人1台タブレットを使って、学習の振り返りとして、保体クイズができるような構成がありました。

学研では、各章の扉のページに学びたいことや学んだことを文字や絵、写真などで表してみようとなり、どんな生徒にも学びが深まるような工夫がされていました。

他の特徴につきましても資料にございます。ご覧いただきたいと思います。

教育長（竹谷好弘）

それでは、ご意見をお願いしたいと思います。
河合委員。

教育委員（河合洋次）

私は大日本図書がいいと思いました。レイアウトが見やすくて分かりやすいと思います。見開き2ページの左のページで説明文、右のページにその説明文の資料が載せられているという構成が分かりやすくて、これは生徒も分かりやすいでいいんじゃないかなと思います。

教育長（竹谷好弘）

山田委員。

教育長職務代理者（山田順久）

私も大日本図書がいいと思いました。河合委員おっしゃいましたように、本文が左で、資料

が右にまとまっているというのが非常に見やすく感じました。それと、救急救命法が見開きで大きく見ることができまして、インパクトもあり、学びやすくなっているというふうに思います。

教育長（竹谷好弘）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私も大日本図書がいいと思いました。単元の課題に対して、「つかもう」「やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう」「活用して深めよう」というふうに、学習過程の中で、生徒自身が自分事として捉えて、課題を解決する学習活動が行えるように工夫されていると思いました。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私も大日本図書がいいよなと思いました。子どもが様々な状況、変化に向き合って、自身の考えを持って生きていけるような、現代的なもろもろの課題に対応しているかなと思いました。特に感染症の章のところなんですけれども、新型コロナウイルス感染症だとか、あとインフルエンザなどに代表される様々な感染症、その原因とか予防の仕方など、本文、資料、活動を通して正しく理解できるように見やすくなっているのは、大日本図書だけじゃないかなと思います。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

山田委員、どうぞ。

教育長職務代理者（山田順久）

東京書籍には、まとめのページで要点が分かりやすく示されています。学研にも補充発展に「振り返ろう」の項目があり、学習の内容をチ

チェックして自己評価ができるようになっていて、振り返りがしやすいなというふうに思いました。

でも、私も一番いいかなと思ったのは大日本図書です。各章のまとめの問題が二次元コードを読み込むと出てくるので、学んだことを確認しながら、理解を深めることができるかなというふうに思いました。

教育長（竹谷好弘）

ほかによろしいですかね。

ご意見が出されました。皆さん、大日本図書を推されていたように思います。よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、保健体育の教科書は大日本図書を採択いたします。

続いて、技術・家庭（技術分野）の教科書に移ります。

お願いいたします。

選定委員長（酒谷由紀子）

では、技術・家庭（技術分野）について報告いたします。

技術・家庭（技術分野）では、学習指導要領に、技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することをめざすと示されております。このことを踏まえ、各社ともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっております。冒頭にはガイドランスを用意しており、学習の見通しが持てるような工夫も各社ともあります。また、プログラミングにおいても資料が豊富であり、1人1台端末を有効に活用する工夫も見られます。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元にありますが、例えば東京書籍では、図や写真が多く掲載されており、デジタルコンテンツも充実しております。また、問題解決のためのものづく

りに見通しを持って取り組むことができるようになっております。

教育図書は、「スキルアシスト」という別冊があり、実習中にこちらを見ながら作業でき、実際のものづくりの参考にしやすいような構成になっています。

開隆堂は、各単元末に学習内容に関連する技術者のインタビューが掲載されており、キャリア教育に重点を置いた取組みがやりやすいようになっています。

他の特徴につきましても資料がございます。ご覧いただきたいと思います。

教育長（竹谷好弘）

技術・家庭（技術分野）については3社でございます。ご意見をお願いいたします。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

技術、どちらもあれなんですけれども、技術が好きという生徒や得意な生徒にとったら教育図書が最もいいかなと思います。特に別冊のスキルアシストというのがとてもよくできています。

あと、私もなんですけれども、技術があまり得意じゃないんですけれども、逆に技術が苦手な生徒でもなじみやすい教材を使っているというのは開隆堂のほうがそうかなと感じました。アニメのドラえもんを取り上げていて、そのドラえもんの道具と現代の技術のつながりの例というのもとても面白かったです。

教育長（竹谷好弘）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

プログラミングについては、高校とのつながりで情報Iを強く意識したコンテンツを使用しているのは東京書籍かなと思いました。

開隆堂は、子どもたちがつまずきやすいポイントを押さえていて、失敗したときの対処法な

ど記載されている点がいいかなと思います。

教育長（竹谷好弘）

山田委員。

教育長職務代理人（山田順久）

今、河合委員おっしゃった東京書籍のプログラミングコンテンツというのは魅力的ですけども、本市では独自でプログラミングソフトを入れていますので、教科書では別の観点に着目して選ぶのもいいかなというように思います。そういう部分でいいますと、東京書籍はカテゴリー分けが細かくてとてもよいと思います。

開隆堂は、先ほどから意見が出ていましたけれども、やはり苦手な生徒にも使いやすい工夫がされているところが一番いいと思う特徴です。そういう点で、私は開隆堂がいいかなというふうに思います。

教育長（竹谷好弘）

どうぞ。

教育委員（井上寿美）

私は開隆堂の「テクノロジーに希望をのせて」というこの副題の印象がとてもよかったんです。だから、これからの時代を生きる子どもたちのことを考えてつくられているというふうにも、何か中身と連動しているかなというふうにも思っております。

教育長（竹谷好弘）

ご意見が出されました。皆さん、開隆堂を推されていたように思います。よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

技術科は開隆堂を採択することといたします。続いて、技術・家庭（家庭分野）に移ります。よろしいですか。お願いします。

選定委員長（酒谷由紀子）

では、技術・家庭（家庭分野）について報告いたします。

技術・家庭（家庭分野）では、学習指導要領

に示された生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することをめざすと示されています。

このことを踏まえ、各社ともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容になっています。既習事項の確認や学習の見通しが持てるよう工夫されており、食物アレルギーについての記載など、安全な食生活についても理解を深められる内容となっております。また、消費者の権利や責任、多様な生き方についても、各社豊富に取り上げられております。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元の資料にあります。例えば東京書籍では、折り込みページを開きながら別ページを見て、栄養素と6つの食品群をつなげて表示するようになっています。

教育図書は、既習事項とつながりがガイドンスで丁寧を示されており、また学習を通して将来につなげていけることが理解できるように工夫されています。

開隆堂は、消費者の権利と責任の単位において、トラブルが起きた際にどのように動くべきか、中学生が考えやすく示されていました。

他の特徴につきましても資料がございます。ご覧いただきたいと思います。

教育長（竹谷好弘）

技術・家庭（家庭分野）は3社です。ご意見をお願いいたします。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

家族の捉え方ってとても大事だと思うんですけども、開隆堂は、里親家庭などについても触れられておりましたし、同性愛についても記載されていて、非常に多様な捉え方がなされていると思えました。先ほどから子どもの権利条

約の話をしていたんですが、こちらのほうでは、こども基本法も取り上げられておりますし、子どもの権利条約を4つの原則で説明されていて、とても分かりやすく記載されていると思えました。

教育長（竹谷好弘）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

私もヒューマニズムについて、他者理解とか他者を尊重するという視点は開隆堂が丁寧に記載されているなと思えました。開隆堂がいいかなと思います。

教育長（竹谷好弘）

田川委員。

教育委員（田川宜子）

消費者の権利とか責任について、各社いろいろな内容を取り上げられているんですけども、一番分かりやすい実例が記載されているのは東京書籍かなと感じました。

あと、1人で食事をする孤独に食べる「孤食」と、あと同じ食卓を囲んでいるけれども個人で別々のものを食べる「個食」の違い、これを明確に記載されているのが教育図書でした。

開隆堂なんですけれども、これはもう技術と同じで、家庭科が得意でない生徒でもなじみやすい教科書になっているのではないかなと思って、開隆堂は好印象でした。

教育長（竹谷好弘）

山田委員。

教育長職務代理者（山田順久）

私も開隆堂がいいというふうに思いました。技術と同様に、先ほど井上委員が技術のときに副題のお話をされていましたが、副題にこだわっていて、「自立しともにささえ合う生活へ」という副題がこれからの時代に生きる子どもたちにつけたい力を表しているなというふうに思います。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。ご意見が出されました。皆さん、開隆堂を推されていたように思います。よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

技術・家庭（家庭分野）は開隆堂を採択いたします。

次、英語に移ります。

お願いいたします。

選定委員長（酒谷由紀子）

英語について報告いたします。

学習指導要領では、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することをめざしております。また、中学校の外国語科においては、言語の役割として、創造的・論理的思考の側面、感性・情緒の側面、他者とのコミュニケーションの側面があることに留意し、特に他者とのコミュニケーションに焦点を当てて指導することが重要となっております。

以上の点を踏まえ、各社とも学習指導要領の目標達成に適切な内容が取り扱われております。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元の資料にあります。例えば東京書籍では、人権の取り扱いにおいて、コンセプトの1つであるダイバーシティが設定されており、「移民の国」「ダイバーシティの国」と称されるカナダの生徒の学校生活や趣味、ボランティア活動の様子など、リアルな姿を動画で見ることができるよう配慮されております。

開隆堂では、内容の取扱いとして、学期末のまとめの活動としてOur Projectが配置されており、各単元の普段の学習がOur

Projectにつながる構成となっております。最終目標が明確になっているため、ゴールから逆向きに考えるバックワードデザインの指導計画が立てやすくなるような配慮も見られます。

三省堂では、人権の取り扱いで、防災訓練や非常食の話題を通して防災への意識が高められる教材となっております。また、「広島への修学旅行」として、原爆の子の像や折り鶴の話から、平和への希求についての意識を高められるような配慮もあります。

教育出版では、「創意・工夫」の観点で、デジタル教科書の「導入Picture-Story Show」を使うことで、本文で扱う題材に興味を持ち、読むモチベーションを高めることができます。また、これらを使ってストーリーテリングを行い、場面や状況を説明する力を育成することができるよう配慮されております。

光村図書では、「創意・工夫」で、学校PR動画づくりや郷土かるたづくりなど、自分の学校や地域の魅力を伝え合う活動が取り入れられております。巻末の付録に英語の学び方ガイドがあり、補助的な学習も配慮されております。

啓林館では、人権の取り扱いで、3年生での広島への修学旅行より被爆体験の語り部や伝承者の方の話から、平和への意識が高められるようなトピックスとなっております。2年生では、防災ウォーキングの話を通して、地域の安全・防災への意識を向上させる教材となるよう配慮もされております。

他の特徴につきましても資料がございますので、ご覧いただきたいと思っております。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。英語については6社でございます。ご意見をお願いいたします。

山田委員。

教育長職務代理者（山田順久）

質問なんですけれども、各社の組織・配列の違いがあるんですけれども、どの教科書も内容についての配慮はなされているのでしょうか。

選定委員長（酒谷由紀子）

確かに配列の順序には違いが見られますけれども、いずれも学ぶべき内容については配慮がされております。

教育長（竹谷好弘）

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私、デジタルコンテンツが気になって比較させてもらいました。発音とか読み上げによるリーディングの違いというのが、読まれる方の違いもあるでしょうけれども、各社かなり特徴が出ていたように感じました。

光村のコンテンツは、高校入試のヒアリングでありますとか、英検のときのヒアリングに一番よく似ていて、標準として聞けて、それはいいなと思いました。

教育委員（河合洋次）

英語に関しては、デジタル教科書の配付があると思っておりますので、そのデジタルコンテンツもやっぱり重要なかなと思います。そういった意味で、今、デジタルコンテンツの聞きやすさというのも大事なポイントやと思います。

教育長（竹谷好弘）

山田委員。

教育長職務代理者（山田順久）

英語では音声でのインプットの重要性というのは言われております。本市がめざしていますグローバル人材の育成という観点からも、インプットとアウトプットというのは重要だと思うんですけれども、東書と光村ではどのような違いがありますか。

教育長（竹谷好弘）

お願いします。

選定委員長（酒谷由紀子）

今、お話しされております4技能5領域のうち、「聞くこと」でいいますと、取扱いの箇所数でいいますと、現行の東書が1年生で12か所に対し光村が51か所、2年生では17か所と39か所、3年生では13か所と36か所というような違いが見られます。

以上です。

教育長職務代理人（山田順久）

ありがとうございます。光村のほうがそれだけ多いということですね。家での自学自習にも活用しやすいと思いますし、そういった点で、私は光村がいいのではないかなというふうに思います。

教育長（竹谷好弘）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

言語習得でいうと、やっぱり聞くことって大事やと思います。その点から、私も光村がいいのかなと思います。

教育長（竹谷好弘）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

創意工夫の点でいうと、光村図書がいいかなというふうに思いました。学校PR動画づくりだとか、郷土かるたづくりなどが地域の学習が教科書の中にもあるんで、本市では地域学習を推進しておりますので、そこでも活用できるように感じました。狭山池を英語で紹介できるようになったらすてきなというふうにも思っております。そういった点でも、光村図書がよいというふうに感じております。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。ご意見を出されました。皆さん、光村図書を推されていたように思います。よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

英語は光村図書を採択いたします。

続いて、最後の道徳の教科書に移ります。

お願いします。

選定委員長（酒谷由紀子）

道徳について報告いたします。

学習指導要領では、よりよく生きるための基となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが示されております。このことを踏まえ、各社とも学習指導要領の目標達成に適切な内容が取り扱われており、現代的課題、教育的課題として国際理解、防災、環境、多様性、キャリア教育など様々なものが扱われております。内容の程度についても、各社とも生徒の発達の段階を考慮し、道徳の指導のねらいに即した内容となっております。また、発問の例が示され、人間としての生き方についての考えが深められるように配慮されております。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元の資料にありますが、例えば東京書籍では、NHK for Schoolの映像が教材化されており、紙面でも動画でも授業を進めることができるよう創意工夫されております。

教育出版では、「いじめをなくそう」「つながり合って生きる」「いのちをかがやかせる」などをテーマに、いじめについて複数の教材がセットで配列されております。

光村図書では、巻末に「まなびの記録」のコーナーを設け、授業ごとの記録や1年間を通しての振り返りを記入できるように配慮されております。

日本文教出版では、「多様性を尊重し合う社会」を考えるためとして、「向上心、個性の伸長」「相互理解、寛容」に関する内容が重点化

されております。

学研では、情報モラルといじめを関連づけた教材が掲載されており、生命について考えるための教材が多く記載されております。

あかつき教育図書では、「自分を見つめて考える」や「いろいろな見方で考える」「考えを深める」で発問の例が掲載されております。

日本教科書では、その人らしく生きるあり方や心地よい状態を示した「ウェルビーイングカード」が巻末に添付されております。

他の特徴につきましてもお手元の資料にございます。ご覧いただきたいと思ひます。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございました。道徳は7社でございます。ご意見をお願いします。

山田委員。

教育長職務代理者（山田順久）

私は日文がいいと思ひました。日文は、「いじめと向き合う」、それと「よりよい社会を考える」をテーマに、複数の教材がセットで配列されていります。いじめについて、生徒が自分たちの問題として主体的に考え、そして議論できるようにどの学年でもシリーズとして学習できるのがいいと思ひました。それと、本冊と道徳ノートの2冊で構成されていまして、道徳ノートは学びの積み重ねがまとめられるようになっていりますし、二次元コードを見ていまして非常に充実していると思ひます。

教育長（竹谷好弘）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私は、道徳の学習では、自分を見つめて自分で考えるだけじゃなくて、他者と向き合って多様な人々と認め合いながら自分の考えをつくっていくことが大切だろうなというふうにご考えていります。そのような観点で、東京書籍、光村図書、日本教科書がよいなというふうにご選んで

みました。

その中で、東京書籍は、生徒にとって身近な題材を扱っている点でいいなと感じていります。3年生の国際理解や国際貢献に結びつくところにも好感を持っていります。

でも、光村図書が一番いいなというふうにご思ひていまして、価値のぶつかり合いをととても大事にされていります。だから生徒がいろいろな視点から教材について意見や考えを持てるようになっていて、複数の発問だとか考えを深めていくためのヒントが提示されている点がよかったというふうにご思ひていります。

教育長（竹谷好弘）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

私は東京書籍がいいと思ひました。最初に、「道徳の授業はこんな時間に」というコーナーを設けて、道徳の目標達成に向けて、生徒が1年間見直しを持つことができるよう配慮されていります。あと、見やすいです。

教育長（竹谷好弘）

田川委員。

教育委員（田川宜子）

すみません、ちょっと質問になるんですけども、読み物教材についてなんですけれども、選定委員会のほうでは、どんな意見が出たか教えていただけたらうれしいです。

選定委員長（酒谷由紀子）

読み物教材は、本当にたくさんあります。選定委員会では、東書、あかつき、光村で扱われている「銀色のシャープペンシル」の題材のよさについて話が上がりました。こちらは、大人でも子どもでもどんな人でも、自分の「心の弱さ」と向き合い、乗り越えていくことはとても難しいと思ひていります。その中で、生徒たちも同様に、学校生活を送る中で、学習や人間関係など様々な場面で困難に直面していると思ひ

れますので、その中で、自分自身の「心の弱さ」と向き合わざるを得ない場面がある。その中で、この授業を通して自分自身の置かれた環境を見つめ直す、自分の生活を振り返る、自分を高めるきっかけになればなどの意見がたくさん出ておりました。

以上でございます。

教育委員（田川宜子）

ありがとうございます。

実は、私も光村の読み物教材がとてもいいなと思ったんです。先ほど出ていた「銀色のシャープペンシル」もそうだったんですけれども、3年に取り上げられています「がんばれ おまえ」というのがとても印象に残りました。目標を持って取り組んだときに苦しくなることもあるけれども、それは誰にでもあることなんだということについて考えるという題材、とても身近な題材なんですけれども、学習活動の中で、クラスメイトと語り合ったりとか、これに対して問い合いながら学びを深めていくというところ、それは大切だと思うんですね。なぜとかどうしてとかという、私の考えは、あなたの考えはという、そういう問答というんですか、そういうのを通して考えて議論するという道徳って私はいいなと思うんで、ちょっと光村はいいなと思いました。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ほかにございませんか。

ご意見が出されました。道徳に関しましてはご意見が分かれたように思います。東書、光村、日文を推す意見がございましたので、この3社で採決を取りたいというふうに思います。意見が分かれました。私も加わって採決したいと思いますけれども、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、まずは東書がふさわしいとお考えの委員、挙手をお願いいたします。

（賛成者挙手）

光村がふさわしいというお考えの委員。これは私も挙手します。

（賛成者挙手）

日文がふさわしい。

（賛成者挙手）

では、光村が採決の結果、多ございました。

道徳の教科書は、光村図書を選択することいたします。

では、各種目の採決結果、採決が終了しましたので、確認を行いたいというふうに思います。

順番に採決しました教科書を申し上げます。

国語、東京書籍、書写、東京書籍、社会（地理的分野）、日本文教出版、歴史的分野、帝国書院、公民的分野、日本文教出版、地図、帝国書院、数学、学校図書、理科、新興出版社啓林館、音楽（一般）、教育芸術社、器楽合奏、教育芸術社、美術、光村図書、保健体育、大日本図書、技術・家庭（技術分野）、開隆堂、家庭分野も開隆堂、英語、光村図書、道徳、光村図書、以上でございます。

委員の皆様には、長時間にわたりご審議いただきありがとうございます。教科書採決に係る議案は以上でございます。

ここで、一旦、傍聴に来られた方の退席のタイミングを取りたいと思います。

退席される方はここでよろしくお願いをいたします。ご案内をお願いいたします。

続きまして、日程第2、報告第20号、大阪狭山市狭山池総合学術調査委員会委員の委嘱についてを議題といたします。

担当に説明を求めます。

担当。

生涯学習グループ（森口健次）

それでは、日程第2、報告第20号、大阪狭山

市狭山池総合学術調査委員会委員の委嘱について、生涯学習グループよりご説明させていただきます。

資料は3ページから6ページでございます。

大阪狭山市狭山池総合学術調査委員会規則第2条のとおり、現在8名の委員から構成されております当委員会ですが、そのうち令和6年7月21日をもって任期満了となる3名についての再任及び日本建築史・文化財修復がご専門の京都女子大学家政学部生活造形学科教授、鶴岡典慶氏1名を新たに加え、4名の委員委嘱を行うものでございます。

任期につきましては、同規則第3条第1項に基づき、令和6年7月22日から令和9年7月21日までの3年間となります。

以上、簡単な説明でございますが、ご報告いたします。

教育長（竹谷好弘）

ただいまの説明につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本案を原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。本案については承認されました。

続きまして、日程第3、報告第21号、大阪狭山市立学校園の適正規模・適正配置に関する実施方針（素案）のパブリックコメント実施についてを議題といたします。

担当に説明を求めます。

担当。

教育政策グループ（鶴田善道）

それでは、日程第3、報告第21号、大阪狭山市立学校園の適正規模・適正配置に関する実施方針（素案）のパブリックコメント実施についてご説明いたします。

資料、大阪狭山市立学校園の適正規模・適正

配置に関する実施方針（素案）のパブリックコメントの実施についてをご覧くださいませか。

本件につきましては、昨年2月に策定いたしました大阪狭山市立学校園の適正規模・適正配置に関する基本方針に基づき、子どもたちにとって望ましい教育・保育環境の整備を迅速かつ着実に進めるため、今後、それぞれの学校園の問題解消に取り組む優先順位や具体的な対策の内容、実施時期などを示す大阪狭山市立学校園の適正規模・適正配置に関する実施方針の策定に向け、パブリックコメントを募集するものでございます。

募集期間につきましては、令和6年8月13日から9月3日までで、公表方法は、市ホームページへの掲載、市役所教育政策グループ、情報公開コーナー、ニュータウン連絡所、市民活動支援センター、市立公民館、図書館、社会教育センター、総合体育館、老人福祉センター「さやま荘」、市立郷土資料館、ぼっぼえん、UPっぷ、子育てひろば“くみのき”で、応募資格は、市内に住んでいる人、市内に事業所、事務所を持っている人または法人等の団体、市内にある事業所、事務所に通勤する人、市内にある学校に通学する人、市税の納税義務がある人、パブリックコメント手続に係る案件に利害関係がある人で、提出方法はL o G oフォームまたは書面を持参、郵送、ファクシミリ、電子メールによる提出で、提出先は教育政策グループとなっております。

意見の公表につきましては、提出された意見とそれに対する市の考えを市ホームページで一定期間公表することとなっております。

以上、簡単でございますが、ご審議のほうをよろしく願いいたします。

教育長（竹谷好弘）

ただいまの説明につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

すみません、ちょっと分からないんで教えて
いただきたいんですけども、応募方法のとこ
ろで、素案に対する意見を日本語でと、日本語
で書いた書面をって、日本語という言語を書い
てあるというのは何か意味があるんでしょうか。

教育長（竹谷好弘）

担当。

教育政策グループ（鶴田善道）

一応こちらのほうの表記につきましては、大
阪狭山市のパブリックコメントの手続の形式に
従いまして、実施させていただきたいと思っ
ております。

以上です。

教育委員（田川宜子）

ありがとうございます。

教育長（竹谷好弘）

よろしいですか。

教育委員（田川宜子）

はい。

教育長（竹谷好弘）

ほかに何かご意見等ございますでしょうか。
よろしいですか。

それでは、本案を原案のとおり可決すること
にご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。本案については承認
されました。

本日の議案は以上でございます。

これをもちまして、教育委員会定例会を閉会
いたします。

以上

会議の経過を記載し、その相違ないことを証す
るため、署名する。

教育委員会教育長

教育委員会教育長職務代理者

教育委員会 委員

教育委員会事務局職員